

# 脊柱不安定性

## - 腰椎不安定性, その理論と実際 -

この講習会では、講義・デモンストレーションを通し以下のことについて学習してまいります。特に、方法論(運動方法)や、言葉をトピックスとして取り上げるのではなく、方法論が役立つ臨床症状・所見から PT としての診断、腹横筋以外の筋の重要性、運動の効果(臨床研究、基礎研究の面から)など日本に十分伝えられていない(重要な点であり、かつ見逃されている点)情報を紹介します。

### 1. 不安定性の歴史と定義

### 2. 病態

解剖(各組織における安定性の役割, クリープは何時間で戻るか)・動き  
→ 各組織の特徴を理解することで予防方法が認識できる

### 3. 症状, 所見からの診断

臨床症状・所見を紹介(解剖学的視点, 臨床家の意見として一致度が高いもの),  
医学的所見とその問題  
→ 臨床家に参考となる  
画像診断のみでは十分でないことも知る

### 4. 安定性運動の理論

持久性, 敏捷性の重要性, 筋のみならず靭帯, 生活習慣の重要性  
腹横筋だけが重要でないことを科学的根拠で提示

### 5. 安定性運動の実際, その効果

実際の方法を紹介(最も安定性が高まる方法), 研究面からの効果を提示

### 6. モビリゼーション/マニピュレーションとの関連性

可動域制限と可動域増大の関連性  
安定性運動とマニピュレーションの2つは共存していることを認識する

**日時** 平成 22 年 8 月 29 日(日) 10 時から 16 時

**講師** 佐藤友紀, 公森隆夫

**会場** 大阪回生病院(JR 新大阪駅前)

**参加費** 日本徒手療法学会会員 7000 円, 非会員 8000 円

**申し込み先** 日本徒手療法学会 事務局 大阪回生病院内 山田一貫

メール:[jsmt@kaisei-hp.co.jp](mailto:jsmt@kaisei-hp.co.jp)

下記の必要事項を記入しお申し込みください。

- ①氏名(フリガナ)
- ②所属(勤務先・勤務先住所・連絡先)
- ③経験年数
- ④講習会受講歴(S1・2・3・4、E1・2、MF1、認定試験、なし)
- ⑤日本徒手療法学会 会員・非会員の明記
- ⑥返信先 E-mail アドレス(携帯は不可)
- ⑦受講された際の領収証の必要の有無